

## 【高校英文法】 助動詞（１）

### ● 助動詞（１）のポイント

- ▼ 1 暴け！助動詞の本当の姿
- ▼ 2 疑問文の助動詞
- ▼ 3 ホットな助動詞 VS クールなソックリ助動詞

### ▼ 1 暴け！助動詞の本当の姿

助動詞ってなに？・・・話者の「        」と「        」を表す！

#### ① can のネイティブ感覚

【可能：できる（←実行可能性がある）】

- a. Satoshi **can** speak French. 「サトシはフランス語を話すことができる。」
- b. I thought I **could** finish my homework by noon. 「正午までに宿題を終わらせられると思った。」

【可能性：ありうる（←可能性がある）】

- c. My father **can** be so selfish at times. 「お父さんって時々自分勝手になるときがあるよな。」
- d. It **can't** be true. 「それが本当の（可能性がない→）はずがない。」

#### ② will のネイティブ感覚

【意志：～するつもりだ（←必ず～する！）】

- a. I **will** marry her. 「僕は彼女と結婚するよ！」

【推量：～するはず（必ず～だろう）】

- b. You **will** feel much better tomorrow. 「(病人に) 明日になったらずっと良くなっているよ。」

【習慣・習性：～する習慣。習性がある（必ず～する）】

- ☆ **would** では **often, sometimes** をつけて「必ず」を弱める！
- c. Accidents **will** happen. 「事故は起こるものだ。」
- d. My father **would** often play catch with me. 「父はよく僕とキャッチボールをしてくれたものだ。」

【拒絶：〈否定文で〉絶対に～しない（必ず～しない）】

- e. Takumi **won't** listen to our advice. 「たくみは私たちの助言を聞こうとしない。」

### ③ must のネイティブ感覚

【義務：～しないとイケない ⇔ 禁止：～してはイケない】

- a. I **must** finish my homework by ten. 「10時までに宿題を終わらせないとイケない。」
- b. You **mustn't** worry the result of a mock test. 「君は模試の結果を気にしてはイケないよ。」

【推定：～に違いない】

- c. Satoshi **must** be genius. 「サトシは天才に違いない。」

### ④ may のネイティブ感覚

【許可：～してもよい ⇔ 禁止：～してはイケない】 ☆強烈な上から目線！

- a. You **may** use your dictionary. 「辞書を使ってもよろしい。」
- b. You **may** not enter the room. 「この部屋に入ってはならない。」

【推量：～かもしれない】

- c. He **may** be sick. 「彼は病気かもしれない。」 予想率 \_\_\_\_\_ %
- d. He **might** be sick. 「彼は病気かもしれない。」 予想率 \_\_\_\_\_ %

### ⑤ shall のネイティブ感覚

【運命の意志：必ず～する！】

- a. I **shall** return. 「(運命の名の下に) 必ず帰ってくる！」

【法律・命令・予言：～なさい / ～すべし / ～だろう】

- b. You **shall** love your neighbors as yourself. 「汝、隣人を汝が如く愛しなさい。」
- c. A man's pride **shall** bring him low. 「驕るものは卑しまれる(だろう)。」

### ⑥ should のネイティブ感覚

【当然：～するべきだ】

- a. You **should** go to the doctor. 「医者のところへ行くべきだよ。」

【当然の推量：～のはずだ】

- b. He **should** be home by now. 「彼は今ごろ家にいるはずだ。」

## ▼ 2 疑問文の助動詞

助動詞は**疑問文**になると、\_\_\_\_\_ 表現となり、「**お願い表現**」「**申し出**」にもなる！

〈相手の行動〉に対して相手にお願いするとき

Can you ~ ? / Could you ~ ? 「～してくれませんか？」

Will you ~ ? / Would you ~ ? 「～してくれませんか？」

〈自分の行動〉に対して相手にお願いするとき

Can I ~ ? / Could I ~ ? 「～してもいいですか？」

May I ~ ? 「～してもよろしいでしょうか？」 ← とっても丁寧な表現

〈shall とセットで〉

Shall I ~ ? 「(自分が) ~ しましょうか？」

- Yes, please. / Yes, thank you. / No, thank you.

Shall we ~ ? 「(一緒に) ~ しませんか？」

- Yes, let's. / No, let's not. / All right. / OK. / Sure. など

※ shall 絡みで問われるのはほとんど「Shall I ~ ?」と「Shall we ~ ?」だけ！

※ 「Shall we ~ ?」 ≡ 「Let's ~」 ≡ 「Why don't we ~ ?」 ≡ 「How about ~ing ?」

=====

### 【探求】助動詞の過去形に注意！

助動詞の**お願い表現**で**過去形**が使われる場合は、**丁寧度が上がる**（相手との心理的距離）！これは時制で習った「過去形＝距離形」の考えを応用したものや。それから助動詞を使って「**ヨソウ**」を表すときも、助動詞の過去形を使うことで**断定的な言い方を避けて予想率を下げる**ことができる（断定からの距離）。例えば、

a. They **will** win the game. 「彼らはその試合に**絶対**に**勝つよ**！」

b. They **would** win the game. 「彼らはその試合に**勝つだろうなあ**。」

どちらも日本語での違いはわかりづらいけど、話者からすると**予想率が違う**。b の方は助動詞が過去形の would になっているから**曖昧な、確信度が低い表現**になってるんよね。

### ▼ 3 ホットな助動詞 VS クールなソックリ助動詞

助動詞はあくまで話者の\_\_\_\_\_な表現であるのに対して、ソックリ助動詞は\_\_\_\_\_な表現になる。

#### ◆ 助動詞 vs ソックリ助動詞

意味	助動詞 (主観)	ソックリ助動詞 (客観)
~しなければならない	must	have to
(パッと) これから~する / (予定して) これから~する	will	be going to
(可能性として) ~できる / (実際に) ~できる	can	be able to
よく~した	would	used to

例えば、”I **must** stop playing games.”だと単に自分の気持ちで「ゲームをやめないと~」っていう感じやけど、”I **have to** stop playing games.”は「(成績が下がったから or 眼科で目が悪くなると言われたから) ゲームをやめないと。」みたいに**客観的な理由**が出てくるんやで。

#### ◆ 「would」 vs 「used to」

	would (主観)	used to (客観)
過去の「習慣」	○ (不規則な習慣)	○ (規則的な習慣)
過去の「状態」	× (状態動詞と使用不可)	○ (状態動詞と使用可)
過去と現在の「対比」	×	○

これも「主観・客観」で判断しよう。”My father **would often** take me to the zoo.”は話者のだいたいの感じ or 好きこのんでやっていた感じ、で決まる「主観的な習慣」。それに対して、used to は決まった頻度 (例えば、週に2回、月に3回、など) で「客観的な習慣」に使われる。**客観的やから現在との「対比」としても使われる**んやで。”Hiroto **used to** get mad easily.”は「ヒロトはすぐカッとなっていたものだ・・・ (今は違うけど。)」という含みがある。

#### ■ 助動詞総まとめ

	コアイメージ	キモチ	ヨソウ	お願い (疑問文で)
can	<b>可能性</b>	できる	<b>ありうる</b>	軽い気持ちで
will	<b>意志</b>	必ず~だ	~するはず	丁寧な感じ
must	<b>圧力</b>	~しないとイケない	~に違いない	×
may	<b>50%</b>	~してもよい	~かもしれない	最強に丁寧
shall	<b>運命の意志</b>	(神に誓って) ~だ	~だろう [予言]	省略
should	<b>当然</b>	~すべきだ / ~した方がいい	<b>~のはずだ</b>	×

## 【高校英文法】 助動詞（2）

### ● 助動詞（2）のポイント

- ▼ 1 助動詞 + have + p.p.
- ▼ 2 助動詞のバリエーション

### ▼ 1 助動詞 + have + p.p.

助動詞 + have + p.p. = 過去のことに對する現時点での推量

過去の行為に對する非難・後悔

#### ◆ 「過去への推量パターン」

- |   |              |
|---|--------------|
| ① <b>may have p.p.</b><br>= <b>might have p.p.</b>      | 「～だったかもしれない」 |
| ② <b>must have p.p.</b>                                 | 「～だったに違いない」  |
| ③ <b>can't have p.p.</b><br>= <b>couldn't have p.p.</b> | 「～だったはずがない」  |

#### ◆ 「過去への非難・後悔パターン」

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| ① <b>should have p.p.</b>   | 「～すべきだったのに」<br>「～したはずだ」 |
| ② <b>ought to have p.p.</b> | 「～すべきだったのに」<br>「～したはずだ」 |
| ③ <b>need not have p.p.</b> | 「～する必要なかったのに」           |

### ▼ 2 助動詞のバリエーション

#### ① would 絡み

**want to** → **would like to** → **would love to** 「～したい → ～したいと思うのですが → 喜んで！」  
**would rather** ~ 「(むしろ) ~したい」

- a. I'd like to ask you some questions. 「いくつか質問したいのですが (よろしいですか)。」  
b. I'd rather say nothing than tell a lie. 「ウソをつくよりかは何も言わないでいたい。」

② may 絡み

may[might] well ~	「きっと〜だろう / ~するのはもっともだ」
may as well ~ / might as well ~	「~してもいいだろう」
might as well ~ as ...	「...するくらいなら~するほうがマシだ」

a. Satoshi **may well** be tired after the trip. 「智は**たぶん**旅行のあとで疲れている**のだろう**。」

b. You **might as well** memorize vocabularies every day. 「君は毎日単語を覚えた**ほうが**いいよ。」

c. I **might as well** die **as** do such a thing. 「そんなことを**するくらいなら**死んだ**ほうがマシさ**。」

☆ ②の攻略法！ ☆

<b>may は 50%、well は強調、as ~as は ≥</b>
may well = may (オススメ 50%) + well (強調) = 「~するのはもっともだ (70~80%のオススメ)」
= may (ヨソウ 50%) + well (強調) = 「きっと〜だろう (70~80%のヨソウ)」
c. I <b>might as well</b> die <b>as</b> do such a thing.

③ had better = 「~したほうがいい」

a. You <b>had better</b> go home right now. 「君は <b>すぐに</b> 家に帰った <b>ほうが</b> いい。」
b. It's secret. You <b>had better not</b> tell anybody. 「それは秘密だから誰にも <b>いうなよ</b> ！」

☆ had better は**脅迫・命令**のニュアンス。先生が生徒、上司が部下に使うもの。使い方に気をつけよう！

☆ 否定形は **had better not** になる。**not の位置に注意**や！

④ cannot ~ too ... = 「いくら~してもしすぎではない。」

You <b>cannot</b> be <b>too</b> careful in choosing your friends. 「友達を選ぶのに <b>いくら</b> 注意 <b>してもしすぎ</b> ではない。」
---

⑤ need → 「助動詞 can」と同じか「一般動詞 want」と同じかを考える！

need は「助動詞」と「一般動詞」の2種類あるから判別が大事！

	助動詞 need	一般動詞 need
肯定文	肯定文では使えない	S need 名詞 S need to 原形 S need -ing
否定文	S need not 原形	S don't need to 原形
疑問文	Need S 原形 ?	Do S need to 原形 ?
3 単現の s	不要	必要 (needs)
過去形	なし	あり (needed)

